

**平成 27 年度  
喜多方市基本計画審議会**

**意見書(答申)**

**平成 27 年 10 月  
喜多方市基本計画審議会**

## 喜多方市基本計画審議会意見書

喜多方市基本計画審議会（以下「審議会」という。）は、平成２７年８月１１日、市長からの委嘱並びに諮問を受け、喜多方市総合計画の基本計画の進捗状況について平成２７年８月１１日、８月２４日に調査及び審議を行いました。

その２回にわたる審議会での議論の結果を、市長に意見書として答申します。

施策の進捗状況は、概ね順調に進展していると認められますが、改善を要する点も見受けられますので、今後ともご努力をお願いします。また、本市においては、東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う風評被害の払拭に重点的に取り組んでいることを評価するとともに、今後も引き続き最重要課題として位置づけながら、喜多方市総合計画の着実な施策の推進に努めてください。

なお、市民満足度・重要度調査は、この意見書の基礎となるものですので、より多くの市民の意向を反映できるよう、アンケートの回収率の向上に努めるほか、実態のより正確な把握のため、成果指標やアンケート項目の見直しについて検討してください。

平成２７年１０月２１日

喜多方市長 山口 信也 様

### 喜多方市基本計画審議会

|       |         |
|-------|---------|
| 会長    | 唐 橋 幸市郎 |
| 職務代理者 | 武 藤 顯 夫 |
| 委員    | 坂 内 鉄 次 |
| 委員    | 後 藤 誠 司 |
| 委員    | 小 林 時 夫 |
| 委員    | 遠 藤 和 子 |
| 委員    | 木 村 勝 美 |
| 委員    | 眞 部 久 男 |
| 委員    | 廣 瀬 雅 彦 |
| 委員    | 田 代 衛   |
| 委員    | 安 田 実   |
| 委員    | 秋 山 光 晴 |
| 委員    | 松 本 祐 一 |
| 委員    | 関 口 高 志 |
| 委員    | 五十嵐 信 幸 |
| 委員    | 青 木 孝 弘 |
| 委員    | 岩 本 知美心 |
| 委員    | 峯 岸 よね子 |
| 委員    | 折 笠 光二良 |
| 委員    | 板 橋 秀 子 |
| 委員    | 齋 藤 信 一 |
| 委員    | 上 野 光 晴 |
| 委員    | 芳 賀 忠 夫 |

## 大綱1 豊かな心を育むまちづくり ～ひとづくり～

| No. | 施策の方針              | 施策項目              |                        |
|-----|--------------------|-------------------|------------------------|
| 1   | 心を豊かにする生涯学習の推進     | (1) 生涯学習の推進       | (4) 社会教育施設・体育施設の整備     |
|     |                    | (2) 生涯スポーツの推進     | (5) 文化施設の整備            |
|     |                    | (3) 文化活動への支援      |                        |
| 2   | 特色ある学校教育の推進        | (1) 学力の向上対策       | (5) 特別支援教育の充実          |
|     |                    | (2) 心の教育          | (6) 進路指導の充実            |
|     |                    | (3) 学校保健・体育の充実    | (7) 小・中学校施設の整備         |
|     |                    | (4) 学校給食の充実       | (8) 放射線教育の充実           |
| 3   | 安心して子育てができる環境整備の推進 | (1) 子育て支援         | (3) 幼稚園・保育所・児童館等の整備・運営 |
|     |                    | (2) 地域における子育て力の向上 | (4) 子育て世代の経済的負担の軽減     |
| 4   | 次世代を担う青少年の健全育成の推進  | (1) 青少年の健全育成      | (3) 人材の育成              |
|     |                    | (2) 青少年団体等の育成     |                        |

### 1 成果指標

| 指標名                                                  | 初期調査時<br>18年度  | 24年度<br>実績 | 25年度<br>実績 | 26年度<br>実績 | 28年度<br>目標値 | 指標の説明                                   |
|------------------------------------------------------|----------------|------------|------------|------------|-------------|-----------------------------------------|
| ①生涯学習講座の受講者数[単年]                                     | 43,285人        | 41,411人    | 48,656人    | 53,245人    | 54,000人     | 生涯学習講座を受講した年間の延べ人数                      |
| ②講師派遣事業支援実施数[単年]                                     | —              | 47回        | 40回        | 42回        | 60回         | 勉強会等への講師派遣支援の年間の回数                      |
| ③スポーツ大会等の参加者数[単年]                                    | —              | 5,698人     | 5,650人     | 5,638人     | 7,500人      | 体育協会等が開催するスポーツ大会への年間の参加者数               |
| ④企画公演の参加者数[単年]                                       | 12,000人        | 18,105人    | 21,505人    | 22,604人    | 15,000人     | 喜多方プラザ企画公演への年間の参加者数                     |
| ⑤市立図書館利用者数[単年]                                       | 28,500人        | 32,764人    | 33,267人    | 31,996人    | 34,700人     | 図書館利用者及び図書館企画事業参加者の年間の延べ人数              |
| ⑥市美術館事業参加者数[単年]                                      | 12,500人        | 9,095人     | 31,166人    | 11,591人    | 16,000人     | 美術館観覧者及び美術館企画事業参加者の年間の延べ人数              |
| ⑦学校コンピュータ整備数[累計]                                     | 700台           | 738台       | 739台       | 741台       | 1,100台      | 市内全域の小中学校のコンピュータ室、普通教室、特別教室に整備するパソコンの台数 |
| ⑧家庭で本を1か月に1冊以上読んだ児童生徒の割合[単年]                         | 小学生<br>—       | 98.9%      | 98.3%      | 98.9%      | 100%        | 家庭での読書活動において、1か月に1冊以上本を読んだ児童生徒の割合       |
|                                                      | 中学生<br>—       | 91.8%      | 88.2%      | 90.9%      | 90%         |                                         |
| ⑨児童生徒のむし歯有病者のうち処置完了者率[単年]                            | —              | 64.9%      | 70.5%      | 72.0%      | 80%         | 小学校、中学校における、児童生徒のむし歯有病者のうち処置完了者率        |
| ⑩耐震化学校施設の数[累計]<br>(全72施設中、新耐震基準であるS57年以降建設の25施設を除く。) | 耐震診断<br>—      | 47か所       | 47か所       | 47か所       | 47か所        | 校舎・体育館等の耐震診断又は耐震化改修工事を実施する学校施設の延べ数      |
|                                                      | 耐震化改修工事<br>1か所 | 24か所       | 30か所       | 33か所       | 35か所        |                                         |
| ⑪出生率[単年]<br>(人口千人あたり)                                | 6.48人          | 6.61人      | 7.20人      | 7.78人      | 7.5人        | 年間の人口千人あたりの出生数                          |

|                         |       |       |       |       |       |                                        |
|-------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|----------------------------------------|
| ⑫育児不安が強い母親の割合[単年]       | 27.7% | 41.7% | 28.1% | 32.9% | 15%   | 4か月児健診時に実施した子育てアンケートから、育児支援を必要とする母親の割合 |
| ⑬虫歯のない3歳児の割合[単年]        | 54.2% | 69.0% | 73.1% | 67.9% | 80.0% | 3歳児健診時に虫歯のない子供の割合                      |
| ⑭青少年のボランティア活動への参加者数[単年] | —     | 77人   | 72人   | 172人  | 180人  | 青少年の青少年育成、文化活動へのボランティアとして参加する人数        |

### 【成果指標からみた実績】

- ①「生涯学習講座の受講者数」は、各公民館における人づくり指針推進講座の新規実施や講座の内容充実を図ったことにより増加した。
- ②「講師派遣事業支援実施数」は、各種団体へ啓発した結果、増加に転じた。
- ③「スポーツ大会等の参加者数」は、既存大会（スポーツフェスティバル）の廃止や新規大会（喜多方こども駅伝大会）の開催により、前年度と同程度となった。
- ④「企画公演の参加者数」は、充実した企画公演が実施できたことと「冬の喜多方発21世紀シアター」を実施したことにより、増加した。【目標値達成】
- ⑤「市立図書館利用者数」は、貸出利用者数は前年比97.2%。昨年度は資料展示等（観覧者のカウントなし）の企画を多く実施したこともあり、減少となった。
- ⑥「市美術館事業参加者数」は、25年に過去最高の入館者を記録した「高橋まゆみ人形展」（21,168人）のような企画展がなかったため、減少した。
- ⑦「学校コンピュータ整備数」は、第三小学校と高郷小学校に1台ずつ増やした。
- ⑧「家庭で本を1か月に1冊以上読んだ児童生徒の割合」は、学校での読書指導・活動が、家庭での読書習慣に結びつき、増加した。【目標値達成（中学生）】
- ⑨「児童生徒のむし歯有病者のうち処置完了者率」は、むし歯有病者に対する指導を徹底したことにより処置への理解が図られたため、増加した。
- ⑩「耐震化学校施設の数」は、計画どおり順調に推移した。【目標値達成（耐震診断）】
- ⑪「出生率（人口千人当たり）」は、出生数が385人と前年度より22人増え、人口が49,455人と前年度より937人減少したこともあり、増加した。【目標値達成】
- ⑫「育児不安が強い母親の割合」は、「上の子への対応に苦慮している」という回答をする方が例年より多かったため、増加した。
- ⑬「虫歯のない3歳児の割合」は、1歳6か月児健診から3歳児健診までの間に虫歯の有病率が高くなる傾向にあるが、平成26年度の3歳児健診対象児は、1歳6か月児健診の際、虫歯ハイリスク児が多かったため、傾向どおり有病率が増え、率が減少した。
- ⑭「青少年のボランティア活動への参加者数」は、実績値の積算を目標値の設定当時の積算基準に合わせ計上するとともに、同理由により24、25年度の実績値を修正した。結果、喜多方発21世紀シアターへの高校生のボランティア参加が増えたことによる増加となった。

### 審議会委員の意見（評価、提案、要望等）

- ・出生率の指標については、より実態が把握でき、一般的に年次比較や地域比較に用いられている合計特殊出生率を採用するよう検討してください。
- ・育児不安が強い母親の割合（上の子への対応の苦慮）が多かったことから、その改善策について検討してください。
- ・児童生徒のむし歯の処置完了者率の増加に引き続き努めるとともに、「第59回よい歯の学校表彰」で最高の栄誉賞を受賞した第一小学校に倣い、むし歯予防の取組をより一層推進してください。

## 2 市民満足度・重要度調査結果

| 項 目                              | 満足度   |       |       | 重要度   |       |       |
|----------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|                                  | 19 年度 | 26 年度 | 27 年度 | 19 年度 | 26 年度 | 27 年度 |
| (1)生涯学習に参加する機会について<br>(1の①～②)    | 55.6  | 58.7  | 58.0  | 69.1  | 73.4  | 76.1  |
| (2)スポーツ活動に参加する機会について<br>(1の③)    | 53.0  | 57.5  | 57.3  | 69.7  | 72.7  | 73.9  |
| (3)音楽や演劇などに接する機会について<br>(1の④～⑥)  | 54.7  | 52.4  | 53.0  | 67.3  | 71.4  | 70.8  |
| (4)学校教育の充実について<br>(1の⑦～⑩)        | 51.4  | 57.8  | 56.0  | 79.6  | 85.9  | 86.2  |
| (5)乳幼児を育てやすい環境の整備について<br>(1の⑪～⑬) | 48.8  | 52.9  | 50.6  | 84.5  | 90.1  | 89.6  |
| (6)青少年の健全育成について<br>(1の⑭)         | 49.8  | 54.5  | 50.6  | 81.1  | 86.0  | 85.6  |
| 平 均                              | 52.2  | 55.7  | 54.2  | 75.2  | 79.9  | 80.4  |

※19年度、26年度、27年度に実施した市民満足度・重要度アンケート調査による。

### 【市民満足度・重要度調査結果についての解説】

以下の文章には、次の内容を記載しています。(※項目は、大綱1から大綱5まで合わせて26項目あります。)

- ・満足度・重要度のポイントの増減  
前年度及び今年度の調査結果に基づいた各項目のポイントの増減になります。
- ・満足度・重要度の順位  
前年度及び今年度の調査結果に基づいた各項目の順位になります。各項目の相対的な位置づけであり、市民の満足度の高低、関心の高低がわかります。
- ・満足度で「わからない」を選んだ割合  
満足度で「わからない」を選んだ割合が35%を超えた項目について記載しています。市民に内容があまり知られていないものと推測されます。
- ・満足の理由、不満の理由、重要とする理由、重要でないとする理由  
今年度の調査で満足・重要などを選択した理由や市民の意見などの主なものを記載しています。

### 【市民満足度・重要度調査結果】

#### (1) 生涯学習に参加する機会について

前年度との比較では、満足度は0.7ポイント減少し、重要度は2.7ポイント増加した。

満足度の順位は26項目中3位となり、重要度の順位は26項目中20位となった。

不満の理由として、

「どこでも簡単に参加できるものが必要だと思うが、公民館のチラシを見ると普通の日が多い。仕事しているので参加できない。」

といった意見があった。

重要とする理由として、

「特に生涯学習については、楽しく豊かな人生を送るのにはとても大事なことだと思います。」  
といった意見があった。

#### (2) スポーツ活動に参加する機会について

前年度との比較では、満足度は0.2ポイント減少し、重要度は1.2ポイント増加した。

満足度の順位は4位となり、重要度の順位は23位となった。

満足度でわからないを選んだ割合が35.3%と高かった。

満足の理由として、

「桜ウォークに参加して楽しかった。」

不満の理由として、

「スポーツ活動は大人の誰でも参加できるような企画とかがあれば良いと思う。」

といった意見があった。

### **(3) 音楽や演劇などに接する機会について**

前年度との比較では、満足度は0.6ポイント増加し、重要度は0.6ポイント減少した。

満足度の順位は12位となり、重要度の順位は24位となった。

満足の理由として、

「最近のプラザ公演は好きです。」

との意見がある一方、

「プラザの良い施設があるのだからライブやミュージカルなどいろんな公演（若者が興味のあるような公演）を企画してもらいたい。」「大きなホールだけでなく、出張して小さな村の集会所でもクラシックとかお芝居とかいろんなパフォーマンスをやれると思うので、期待したい。」  
といった意見も見られた。

### **(4) 学校教育の充実について**

前年度との比較では、満足度は1.8ポイント減少し、重要度は0.3ポイント増加した。

満足度の順位は7位となり、重要度の順位は10位となった。

不満の理由として、

「管内の小中学校の学力は必ずしも良いとは言えない。」「小・中学校の施設の整備に力を入れて明るい環境、大切にしていきたいと思えるような学校が欲しい。」

といった意見があった。

### **(5) 乳幼児を育てやすい環境の整備について**

前年度との比較では、満足度は2.3ポイント減少し、重要度は0.5ポイント減少した。

満足度の順位は18位となり、重要度の順位は3位となった。

不満の理由として、

「児童館について第一小学校だけ3年生で終わるのはおかしい。働いている親達は心配だと思う。」「子育て世代の経済負担の軽減には力を入れてもらいたいと思う。」

といった意見があった。

### **(6) 青少年の健全育成について**

前年度との比較では、満足度は3.9ポイント減少し、重要度は0.4ポイント減少した。

満足度の順位は17位となり、重要度の順位は11位となった。

満足度でわからないを選んだ割合が39.1%と高かった。

### **審議会委員の意見（評価、提案、要望等）**

・芸術やスポーツ面が評価されており、今後も生涯学習も含めてその施策の充実に努めてください。

## 大綱2 魅力ある産業が有機的に結びつくまちづくり ～産業づくり～

| No. | 施策の方針                | 施策項目                     |                          |
|-----|----------------------|--------------------------|--------------------------|
| 1   | 地域の特色を生かした活力ある農林業の振興 | (1) 担い手の育成・確保            | (6) 農村環境・農業基盤の整備・保全      |
|     |                      | (2) 農地の有効利用の促進           | (7) 畜産業の振興               |
|     |                      | (3) 農作物生産への支援            | (8) 林道の整備                |
|     |                      | (4) 農林産物の販路拡大            | (9) 林業の振興                |
|     |                      | (5) 環境にやさしい農業の推進         | (10) グリーン・ツーリズムの推進       |
| 2   | 地域の個性を生かした商工業の振興     | (1) 商業の振興                | (5) 新しい産業の振興             |
|     |                      | (2) 地場産業の振興              | (6) 企業誘致の促進              |
|     |                      | (3) ものづくりの振興             | (7) 就業機会の確保と雇用創出の推進      |
|     |                      | (4) 中小企業への支援             |                          |
| 3   | もてなす心が温かい喜多方流観光の推進   | (1) 温かい心くばりによる「おもてなし」の推進 | (5) 観光資源のネットワーク化と広域連携の促進 |
|     |                      | (2) 着地型観光の推進             | (6) 情報発信の強化              |
|     |                      | (3) まちづくり団体との連携と推進体制の強化  | (7) 風評被害の払拭              |
|     |                      | (4) 地域特性を活かしたイベント等の開催    |                          |

### 1 成果指標

| 指標名                 | 初期調査時<br>18年度 | 24年度<br>実績 | 25年度<br>実績 | 26年度<br>実績 | 28年度<br>目標値 | 指標の説明                                                        |
|---------------------|---------------|------------|------------|------------|-------------|--------------------------------------------------------------|
| ①認定農業者数<br>[累計]     | 303人          | 457人       | 449人       | 499人       | 580人        | 農業の担い手の確保を示す人数                                               |
| ②農用地の集積率<br>[累計]    | 39.6%         | 51.5%      | 52.5%      | 55.2%      | 70.0%       | 効率的かつ安定的な農業経営への集積目標                                          |
| ③園芸作物施設化率<br>[累計]   | —             | 14.3%      | 17.1%      | 18.2%      | 30.0%       | グリーンアスパラガスの生産における施設栽培面積の割合(JA会津いいで調べ)                        |
| ④エコファーマー数<br>[累計]   | —             | 2,162人     | 2,161人     | 1,916人     | 3,000人      | 福島県から「持続性の高い農業生産方式導入計画」の認定を受けた者(エコファーマー)の人数                  |
| ⑤多面的機能支払活動組織数[累計]   | —             | 70組織       | 73組織       | 85組織       | 65組織        | 農業・農村の有する多面的機能(国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成等)の保全管理活動に取り組む組織数 |
| ⑥民有林間伐面積<br>[単年]    | —             | 32ha       | 51ha       | 43ha       | 274ha       | 民有林における間伐実施面積                                                |
| ⑦グリーン・ツーリズム交流人口[単年] | 7,900人        | 4,840人     | 4,493人     | 6,211人     | 24,000人     | グリーン・ツーリズム関連イベント等の交流人口                                       |
| ⑧有効求人倍率<br>[単年]     | 0.71倍         | 0.82倍      | 0.82倍      | 1.18倍      | 1.00倍以上     | 会津若松公共職業安定所喜多方出張所に申し込まれている求職者数に対する求人数の割合                     |
| ⑨地元就職率[単年]          | 100%          | 98.4%      | 99.6%      | 100.0%     | 100%        | 管内新規高卒者で管内就職希望者数のうち、管内就職内定者数の割合                              |
| ⑩観光客入込数<br>[単年]     | 172万人         | 171万人      | 184万人      | 169万人      | 220万人       | 本市を訪れた年間の観光客数                                                |

|           |           |          |          |                 |           |                                                             |
|-----------|-----------|----------|----------|-----------------|-----------|-------------------------------------------------------------|
| ⑪宿泊人数[単年] | 140,000 人 | 66,000 人 | 69,000 人 | <b>68,000 人</b> | 180,000 人 | 市内の旅館、ホテル等の年間の宿泊人数<br>※目標値及び平成 23 年度実績までは推計値。平成 24 年度以降は実績。 |
|-----------|-----------|----------|----------|-----------------|-----------|-------------------------------------------------------------|

### 【成果指標からみた実績】

- ①「認定農業者数」は、経営所得安定対策におけるゲタナラシ対策のメリット措置を受けるため、新規認定が増加した。
- ②「農用地の集積率」は、農業行政の制度改革により、米に対する助成対象が認定農業者に限られたことから、認定農業者の数が飛躍的に増え、集積率が増加した。
- ③「園芸作物施設化率」は、市や農協の施設化助成により、増加した。
- ④「エコファーマー数」は、新規認定や認定期間満了後の更新者が少なくなり、減少した。
- ⑤「多面的機能支払活動組織数（旧農地・水保全管理活動組織数）」は、新制度に移行した際の啓発普及により、増加した。【目標値達成】
- ⑥「民有林間伐面積」は、間伐の助成を受ける条件である「森林経営計画」の策定が進まなかったため、減少した。
- ⑦「グリーン・ツーリズム交流人口」は、外国人の受入れとボート大会開催に伴う受入れが増えたため、増加した。
- ⑧「有効求人倍率」は、求人数が増えたことにより、増加した。【目標値達成】
- ⑨「地元就職率」は、求人数が増えたことにより、増加した。【目標値達成】
- ⑩「観光客入込数」、⑪「宿泊人数」は、八重の桜効果のリバウンド及び消費税増税に伴う消費動向の落ち込みのため、減少した。

### 審議会委員の意見（評価、提案、要望等）

- ・ 認定農業者への誘導や人・農地プラン策定の推進などにより、農業の振興にさらに取り組んでください。
- ・ 教育旅行等による誘客にさらに努めるとともに、新たな観光資源の創出を図るなど、観光客入込数の増加に一層努力してください。

## 2 市民満足度・重要度調査結果

| 項 目                                  | 満足度   |       |              | 重要度   |       |              |
|--------------------------------------|-------|-------|--------------|-------|-------|--------------|
|                                      | 19 年度 | 26 年度 | <b>27 年度</b> | 19 年度 | 26 年度 | <b>27 年度</b> |
| (1) 農林業の振興について<br>(1 の①～⑥)           | 43.5  | 47.0  | <b>48.7</b>  | 76.4  | 82.7  | <b>82.1</b>  |
| (2) 商工業の振興について<br>(1 の⑧～⑨)           | 42.4  | 49.8  | <b>44.8</b>  | 73.6  | 81.7  | <b>82.6</b>  |
| (3) 市内における就業の機会や企業誘致について<br>(1 の⑧～⑨) | 29.2  | 28.1  | <b>26.5</b>  | 84.2  | 88.8  | <b>89.7</b>  |
| (4) 観光の振興について<br>(1 の⑦・⑩～⑪)          | 55.3  | 59.3  | <b>58.6</b>  | 76.7  | 82.5  | <b>83.4</b>  |
| 平 均                                  | 42.6  | 46.1  | <b>44.6</b>  | 77.7  | 83.9  | <b>84.4</b>  |

## 【市民満足度・重要度調査結果】

### （１）農林業の振興について

前年度との比較では、満足度は 1.7 ポイント増加し、重要度は 0.6 ポイント減少した。

満足度の順位は 20 位となり、重要度の順位は 16 位となった。

満足度でわからないを選んだ割合が 39.3%と高かった。

### （２）商工業の振興について

前年度との比較では、満足度は 5.0 ポイント減少し、重要度は 0.9 ポイント増加した。

満足度の順位は 22 位となり、重要度の順位は 15 位となった。

満足度でわからないを選んだ割合が 36.0%と高かった。

不満の理由として、

「商工業は、今のままを守ろうとしているだけで先に進んでいない。」「農林業への補助は大きい、商工業へはほとんどない。」

といった意見があった。また、

「地域の特徴を活かした産業開発が必要。例えば山林を活用した木工家具や木工玩具の工場開発など。」

との提言も見られた。

### （３）市内における就業の機会や企業誘致について

前年度との比較では、満足度は 1.6 ポイント減少し、重要度は 0.9 ポイント増加した。

満足度の順位は最下位の 26 位となり、重要度の順位は 2 位となった。

重要とする理由として、

「働く場所がなければ若い人は地元に残れないので企業誘致は重要だと思います。」「若い人が働ける場が少ないと思う。暮らしやすい街なのでもっと仕事を増やして人口増につなげてほしい。」

といった意見があった。

### （４）観光の振興について

前年度との比較では、満足度は 0.7 ポイント減少し、重要度は 0.9 ポイント増加した。

満足度の順位は 2 位となり、重要度の順位は 14 位となった。

満足の理由として、

「最近市内でのイベント（よさこい、音 CON、祭など）が盛り上がっている様に感じます。中央通り、小田付通りの商店街の協力もあり、それに伴い他県からの参加者、観光客が来県されていると思います。」「これからも、どんどん新しい事に取り組んでもらいたいと期待しています。」

との意見があった一方、

「喜楽里博は期間が長く何を行っているのかわかりにくい。」「観光については国際化をもっと推進したほうが良いと思う。」

との意見があった。

- ・人口減少に歯止めをかけるためにも、地場産業の育成、企業誘致等に一層努力され、就業機会の増加を図ってください。
- ・本市蔵元の酒が、インターナショナル・ワイン・チャレンジの日本酒部門で世界一となる「チャンピオン・サケ」に選ばれたことを契機に、「酒どころ喜多方」をさらにPRして、産業の振興につなげてください。

### 大綱3 みんなの知恵と協働で創るまちづくり ～地域社会づくり～

| No. | 施策の方針                  | 施策項目                    |                         |
|-----|------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 1   | 住民と行政の協働の推進            | (1) 地域コミュニティ活動の促進       | (2) 市民活動の促進             |
| 2   | 男女共同参画の推進              | (1) 男女共同参画社会の推進         |                         |
| 3   | 地域間交流の推進               | (1) 地域間交流の推進            | (3) 海外協力活動の支援           |
|     |                        | (2) 国際交流の推進             |                         |
| 4   | 自然・歴史・文化に誇りがもてる地域資源の活用 | (1) 地域に残る自然や歴史文化等の保全と活用 | (2) 伝統文化・歴史の継承と旧市町村史の活用 |

#### 1 成果指標

| 指標名                         | 初期調査時<br>18年度 | 24年度<br>実績   | 25年度<br>実績   | 26年度<br>実績   | 28年度<br>目標値   | 指標の説明                                      |
|-----------------------------|---------------|--------------|--------------|--------------|---------------|--------------------------------------------|
| ①一行政区一運動実施行政区数[累計]          | 105 区         | 182 区        | 190 区        | 199 区        | 195 区         | 運動に取り組んだ行政区の数<br>(全行政区数 272)               |
| ②NPOやボランティアとの協働事業数[単年]      | —             | 18 件         | 16 件         | 19 件         | 25 件          | NPOやボランティアと連携<br>(支援や協力) して取り組んだ事業数        |
| ③喜多方市市民活動支援センター運営団体の会員数[累計] | 団体会員<br>4 団体  | 団体会員<br>7 団体 | 団体会員<br>7 団体 | 団体会員<br>6 団体 | 団体会員<br>24 団体 | 喜多方市市民活動支援センター運営団体(喜多方市市民活動サポートネットワーク)の会員数 |
|                             | 個人会員<br>39 人  | 個人会員<br>74 人 | 個人会員<br>56 人 | 個人会員<br>46 人 | 個人会員<br>160 人 |                                            |
| ④NPO法人組織数[累計]               | 9 団体          | 20 団体        | 21 団体        | 21 団体        | 20 団体         | 本市のNPO法人の組織数                               |
| ⑤審議会等における女性委員の割合[単年]        | 22.7%         | 32.1%        | 31.5%        | 30.6%        | 40.0%         | 本市の審議会等の委員数に占める女性委員の割合                     |
| ⑥地域間交流活動参加者数[単年]            | 395 人         | 166 人        | 169 人        | 407 人        | 700 人         | 各種地域間交流イベントへの年間の参加者数                       |
| ⑦国際交流活動参加者数[単年]             | 135 人         | 175 人        | 185 人        | 190 人        | 250 人         | 各種国際交流事業への年間の参加者数                          |
| ⑧文化財活用事業の参加者数[単年]           | 217 人         | 2,138 人      | 2,116 人      | 2,645 人      | 2,000 人       | 文化財を活用した各種事業への年間の参加者数                      |

#### 【成果指標からみた実績】

- ①「一行政区一運動実施行政区数」は、行政区長会で事業推進を依頼した結果、新たに9行政区が事業を実施した。【目標値達成】
- ②「NPOやボランティアとの協働事業数」は、ホームスタート事業(こども課)、創業支援事業(商工課)、在宅ワークセミナー業務委託事業(商工課)が追加となった。
- ③「喜多方市市民活動支援センター運営団体の会員数」は、団体会員1団体が新規加入し、2団体が脱会した。また、個人会員の数は9人が退会し、1人が正会員から賛助会員へ変更となった。
- ④「NPO法人組織数」は、NPO法人ひめさゆりくらぶが新たに認証され、NPO法人桐の博物館が解散した。【目標値達成】
- ⑤「審議会等における女性委員の割合」は、女性委員から男性委員に変更になった審議会等が増えたため、減少した。
- ⑥「地域間交流活動参加者数」は、友好都市消費者モニターツアー及び香取市小見川スポーツ少年団スキー教室が開催され、友好都市からの受入れ人数が増加した。
- ⑦「国際交流活動参加者数」は、姉妹都市からの使節団の受入れや交流会の開催のほか、外国料

理教室、外国語講座等の事業を行ったため、増加した。

- ⑧「文化財活用事業の参加者数」は、市史セミナーや長床ウォークなど各種事業において、参加者が前年を上回ったため、増加した。【目標値達成】

#### 審議会委員の意見（評価、提案、要望等）

- ・審議会等の女性委員の割合について、全庁的に改めて男女共同参画についての意識強化を図り、目標値の達成に努力してください。

## 2 市民満足度・重要度調査結果

| 項 目                              | 満足度   |       |       | 重要度   |       |       |
|----------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|                                  | 19 年度 | 26 年度 | 27 年度 | 19 年度 | 26 年度 | 27 年度 |
| (1) 住民と行政との協働によるまちづくりについて（1の①～④） | 48.9  | 55.1  | 52.0  | 73.7  | 77.1  | 79.2  |
| (2) 男女共同参画の推進について（1の⑤）           | 48.4  | 51.8  | 48.8  | 63.4  | 71.0  | 68.5  |
| (3) 国際交流・地域間交流の推進について（1の⑥～⑦）     | 53.2  | 55.6  | 50.9  | 59.1  | 65.9  | 66.6  |
| (4) 蔵等の地域資源の保全や利活用について（1の⑧）      | 50.9  | 56.8  | 54.1  | 66.6  | 74.1  | 75.3  |
| 平 均                              | 50.4  | 54.8  | 51.5  | 65.7  | 72.0  | 72.4  |

### 【市民満足度・重要度調査結果】

#### （１）住民と行政との協働によるまちづくりについて

前年度との比較では、満足度は3.1ポイント減少し、重要度は2.1ポイント増加した。

満足度の順位は14位となり、重要度の順位は19位となった。

重要とする理由として、

「住民と行政の協働の推進は大いに進めていく必要があると思う。もっと近い存在であるべきと思う。」

といった意見があった。

#### （２）男女共同参画の推進について

前年度との比較では、満足度は3.0ポイント減少し、重要度は2.5ポイント減少した。

満足度の順位は19位となり、重要度の順位は25位となった。

満足度でわからないを選んだ割合が42.6%と高かった。

#### （３）国際交流・地域間交流の推進について

前年度との比較では、満足度は4.7ポイント減少し、重要度は0.7ポイント増加した。

満足度の順位は16位となり、重要度の順位は最下位の26位となった。

満足度でわからないを選んだ割合が43.4%と最も高かった。

重要と思わない理由として、

「国際交流は一部の人だけのものであるような気がします。」「国際交流や地域間交流は、形は

残っていても、それに参加したその後の成果が全くわからない。」

といった意見があった。

#### **(4) 蔵等の地域資源の保全や利活用について**

前年度との比較では、満足度は2.7ポイント減少し、重要度は1.2ポイント増加した。

満足度の順位は9位となり、重要度の順位は22位となった。

不満の理由として、

「立派な蔵がどんどん取り壊されている。もっと補助を増やしてやってほしい。」「蔵の保存に一層努力してほしいです。」

といった意見が多かった。

#### **審議会委員の意見（評価、提案、要望等）**

- ・国際化を一層進めるためにも、国際交流の充実、強化に努めてください。

## 大綱4 健康と思いやりで創る安全で安心なまちづくり ～くらしづくり～

| No. | 施策の方針                    | 施策項目            |                     |
|-----|--------------------------|-----------------|---------------------|
| 1   | 安心で健康に暮らせる保健・医療体制の推進     | (1) 健康づくりの推進    | (3) 地域医療体制の充実       |
|     |                          | (2) 予防対策の推進     | (4) 国民健康保険制度等の適正な運営 |
| 2   | 地域で育む福祉体制の推進             | (1) 高齢者への生活支援   | (3) 保健・福祉施設の整備      |
|     |                          | (2) 障がい者への生活支援  | (4) 社会保障等の推進        |
| 3   | 安全・安心の防犯・防災体制・交通安全対策等の推進 | (1) 消防・防災体制の充実  | (5) 交通安全の推進         |
|     |                          | (2) 防火性や耐震性等の向上 | (6) 防犯体制の整備         |
|     |                          | (3) 避難体制の確立     | (7) 地すべり等危険箇所の対策    |
|     |                          | (4) 救急救助体制の充実強化 |                     |

### 1 成果指標

| 指標名                | 初期調査時<br>18年度 | 24年度<br>実績 | 25年度<br>実績 | 26年度<br>実績     | 28年度<br>目標値 | 指標の説明                                                    |
|--------------------|---------------|------------|------------|----------------|-------------|----------------------------------------------------------|
| ①特定健診受診率<br>[単年]   | —             | 35.4%      | 35.9%      | (推計値)<br>35.2% | 65%         | 特定健診を受けた人の割合<br>(各年度の法定報告「国保特定健康診査・特定保健指導国庫負担金事業実績報告値」)  |
| ②胃がん検診受診率<br>[単年]  | —             | 14.9%      | 14.8%      | 14.4%          | 50%         | 胃がん検診を受けた人の割合<br>平成 23 年度から内視鏡検査を含む(40 歳以上の受診率)          |
| ③大腸がん検診受診率[単年]     | —             | 20.5%      | 21.0%      | 20.6%          | 50%         | 大腸がん検診を受けた人の割合(地域保健報告)平成 23 年度から無料クーポン受診者を含む(40 歳以上の受診率) |
| ④いきいき高齢者数<br>[累計]  | 13,891 人      | 13,036 人   | 13,024 人   | 13,167 人       | 15,500 人    | 要介護の認定を受けていない<br>高齢者の人数<br>(いきいき高齢者の割合)                  |
|                    | —             | 82.2%      | 81.5%      | 81.1%          | 88.9%       |                                                          |
| ⑤太極拳愛好者数<br>[累計]   | 1,100 人       | 624 人      | 617 人      | 542 人          | 2,000 人     | 市内の太極拳愛好者数                                               |
| ⑥太極拳ゆったり体操愛好者数[累計] | —             | 1,101 人    | 1,122 人    | 833 人          | 1,500 人     | 市内の太極拳ゆったり体操愛好者数                                         |
| ⑦就労継続支援利用者数[累計]    | —             | 143 人      | 142 人      | 148 人          | 170 人       | 障がい者で、知識や能力の向上のためのサービスを利用し、生産活動を通して社会参加をしている人数           |
| ⑧火災発生件数<br>[単年]    | 36 件          | 19 件       | 21 件       | 19 件           | 18 件以下      | 広域消防予防課による市内の年間火災発生件数                                    |
| ⑨交通事故による死傷者数[単年]   | 324 人         | 231 人      | 242 人      | 155 人          | 220 人以下     | 福島県警察本部交通事故発生状況による市内の年間の交通事故による死傷者数                      |
| ⑩刑法犯発生件数<br>[単年]   | 491 件         | 351 件      | 275 件      | 232 件          | 200 件以下     | 喜多方警察署生活安全課による市内の年間刑法犯発生件数                               |

#### 【成果指標からみた実績】

- ①「特定健診受診率」、②「胃がん検診受診率」、③「大腸がん検診受診率」は、施設健診の受診者が増加する一方、集団健診については、従来の会場を変更したこともあり、受診者が減少し、受診率はほぼ横ばいで推移した。

- ④「いきいき高齢者数」は、若干、増加した。
- ⑤「太極拳愛好者数」は、高齢化に伴う教室参加者数の減少と教室数の減少により、減少傾向にある。
- ⑥「太極拳ゆったり体操愛好者数」は、開催教室数・実施施設数の減少及び参加者数の減少により、減少に転じた。
- ⑦「就労継続支援利用者数」は、微増となった。
- ⑧「火災発生件数」は、予防消防に徹したところ、火災減少に繋がった。
- ⑨「交通事故による死傷者数」は、交通安全啓発活動を推進したことにより、大幅に減少した。【目標値達成】
- ⑩「刑法犯発生件数」は、関係機関及び団体等による各種防犯活動により、市民の自主防犯意識が高まり犯罪が起こりにくい地域になってきているため、減少を維持した。

#### 審議会委員の意見（評価、提案、要望等）

- ・太極拳ゆったり体操愛好者数が大幅に減少しているため、介護予防の観点からも、当該愛好者数が増加するよう努力してください。

## 2 市民満足度・重要度調査結果

| 項 目                                | 満足度   |       |       | 重要度   |       |       |
|------------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|                                    | 19 年度 | 26 年度 | 27 年度 | 19 年度 | 26 年度 | 27 年度 |
| (1) 病院などの地域医療体制の充実について（1の①～③）      | 38.2  | 42.5  | 42.2  | 93.3  | 91.0  | 91.4  |
| (2) 健康づくりや病気の予防対策の推進について（1の④～⑥）    | 55.6  | 55.1  | 56.0  | 86.4  | 84.7  | 84.9  |
| (3) 障がい者やお年寄りなどのための福祉サービスについて（1の⑦） | 49.6  | 52.0  | 51.4  | 87.5  | 89.4  | 88.7  |
| (4) 保健・福祉施設の整備について                 | 51.8  | 53.4  | 52.1  | 84.3  | 85.9  | 88.0  |
| (5) 自然災害や火災などの防災対策について（1の⑧～⑨）      | 55.1  | 54.6  | 57.0  | 87.7  | 89.6  | 89.3  |
| (6) 犯罪や風紀などの防犯対策について（1の⑩）          | 51.4  | 56.9  | 53.7  | 86.9  | 86.3  | 87.4  |
| 平 均                                | 50.3  | 52.4  | 52.1  | 87.7  | 87.8  | 88.3  |

### 【市民満足度・重要度調査結果】

#### （1）病院などの地域医療体制の充実について

前年度との比較では、満足度は0.3ポイント減少し、重要度は0.4ポイント増加した。

満足度の順位は24位となり、重要度の順位は1位となった。（前年度と同順位）

満足の理由として、

「病院、開業医の先生方も一所懸命に患者さんと向き合っていていらっしゃると思います。」「ほっときらり（喜多方市地域・家庭医療センター）は非常に良い取り組みと思う。」

といった意見があった。

不満の理由として、

「救急の病院が市にはない。」「小児科の救急がない。」「急患の場合、会津若松市まで行かなければならない。」「夜間救急、産科、小児科を充実させてほしい。」

といった意見が多数あった。

## **(2) 健康づくりや病気の予防対策の推進について**

前年度との比較では、満足度は 0.9 ポイント増加し、重要度は 0.2 ポイント増加した。

満足度の順位は前年度の 12 位から 6 位へと上昇し、重要度の順位は 13 位となった。

提案・要望として、

「たとえば認知症予防や健康を維持するための運動の講座等、高齢者は車を運転できない人が多いのだから近くで受講できるようにしたらどうか。」「市内の分煙をもっとしっかり実施してほしい。」

といった意見があった。

## **(3) 障がい者やお年寄りなどのための福祉サービスについて**

前年度との比較では、満足度は 0.6 ポイント減少し、重要度は 0.7 ポイント減少した。

満足度の順位は 15 位となり、重要度の順位は 5 位となった。

不満の理由として、

「介護保険料が高い。」「障害者やお年寄りの声を聞き、そのニーズに応える施策をうち出す必要がある。上から目線ではなく、弱者に寄り添う姿勢が必要だと思う。」

といった意見があった。

## **(4) 保健・福祉施設の整備について**

前年度との比較では、満足度は 1.3 ポイント減少し、重要度は 2.1 ポイント増加した。

満足度の順位は 13 位となり、重要度の順位は前年度の 11 位から 7 位へと上昇した。

## **(5) 自然災害や火災などの防災対策について**

前年度との比較では、満足度は 2.4 ポイント増加し、重要度は 0.3 ポイント減少した。

満足度の順位は前年度の 13 位から 5 位へと上昇し、重要度の順位は 4 位となった。

## **(6) 犯罪や風紀などの防犯対策について**

前年度との比較では、満足度は 3.2 ポイント減少し、重要度は 1.1 ポイント増加した。

満足度の順位は 10 位となり、重要度の順位は 8 位となった。

不満の理由として、

「防災対策、防犯対策、共に隣組等近所、町内などの身近な活用が大事かと思います。」

といった意見があった。

## **審議会委員の意見（評価、提案、要望等）**

- ・ 防犯、防災、獣害防止等の観点から、空き家対策をより一層推進してください。
- ・ 医療体制の充実、特に産婦人科及び小児の夜間救急の充実について、前向きに改善策を検討してください。

## 大綱5 自然と共生する美しく快適なまちづくり ～ふるさとづくり～

| No. | 施策の方針             | 施策項目            |                   |
|-----|-------------------|-----------------|-------------------|
| 1   | 快適な生活環境の形成        | (1) 道路の整備       | (8) 下水道、農業集落排水の整備 |
|     |                   | (2) 除雪体制の整備     | (9) 浄化槽設置の促進      |
|     |                   | (3) 河川の整備       | (10) 公営住宅の整備      |
|     |                   | (4) 水路等の整備      | (11) 国土調査事業の推進    |
|     |                   | (5) 公園の整備       | (12) 公共交通機関の充実    |
|     |                   | (6) 駅周辺の整備      | (13) 地域情報化の推進     |
|     |                   | (7) 水道施設の整備     |                   |
| 2   | 人と自然に配慮した環境の形成    | (1) 良好な景観の保全と形成 | (3) 環境の保全         |
|     |                   | (2) 清流対策の推進     |                   |
| 3   | 地球環境を意識した循環型社会の形成 | (1) 廃棄物減量化の促進   | (2) 新エネルギーの導入     |

### 1 成果指標

| 指標名                                          | 初期調査時<br>18年度          | 24年度<br>実績             | 25年度<br>実績             | 26年度<br>実績             | 28年度<br>目標値            | 指標の説明                             |
|----------------------------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|-----------------------------------|
| ①市道の改良率<br>[累計]                              | 75.9%                  | 79.3%                  | 79.4%                  | 79.4%                  | 85.9%                  | 市道の総延長に占める改良された市道の割合              |
| ②市道の舗装率<br>[累計]                              | 70.3%                  | 73.8%                  | 74.3%                  | 74.9%                  | 80.3%                  | 市道の総延長に占める舗装された市道の割合              |
| ③街路整備率<br>[累計]                               | 64.9%                  | 76.9%                  | 77.0%                  | 77.0%                  | 70.0%                  | 計画に対する都市計画道路の改良延長割合               |
| ④一人当たりの都市公園面積[累計]                            | 6.81 m <sup>2</sup> /人 | 7.56 m <sup>2</sup> /人 | 7.61 m <sup>2</sup> /人 | 7.30 m <sup>2</sup> /人 | 8.10 m <sup>2</sup> /人 | 都市計画区域内人口1人当たりの都市公園の面積            |
| ⑤水道普及率<br>[累計]                               | —                      | 86.4%                  | 86.5%                  | 87.5%                  | 86.2%                  | 簡易水道を含めた水道の普及率                    |
| ⑥下水道等普及率<br>[累計]                             | 55.6%<br>(H19年度)       | 60.8%                  | 61.6%                  | 61.9%                  | 81.0%                  | 総人口に占める公共下水道、農業集落排水、浄化槽等利用可能人数の割合 |
| ⑦水洗化率[累計]                                    | 77.4%<br>(H19年度)       | 85.9%                  | 86.1%                  | 86.6%                  | 89.0%                  | 下水道が使える区域の人口のうち接続した人口の割合          |
| ⑧公共交通カバー率[累計]                                | —                      | 89.7%                  | 99.8%                  | 99.8%                  | 99.5%                  | 公共交通を利用可能な人口割合                    |
| ⑨公共交通利用者数[単年]                                | —                      | 287人/日                 | 297人/日                 | 266人/日                 | 595人/日                 | 1日の公共交通利用者数                       |
| ⑩水質の浄化度<br>市内主要河川の<br>BODの数値[単年]<br>※県の調査データ | 1.6mg/ℓ                | 1.7mg/ℓ                | 1.2mg/ℓ                | 意見書作成時<br>未公表          | 1.0mg/ℓ                | 測定位置：<br>田付川「下川原橋」                |
|                                              | 1.6mg/ℓ                | 1.2mg/ℓ                | 1.4mg/ℓ                | 意見書作成時<br>未公表          | 1.0mg/ℓ                | 測定位置：<br>濁川「濁川橋」                  |
| ⑪花いっぱいコンクール参加件数[単年]                          | 52件                    | 52件                    | 39件                    | 42件                    | 130件                   | 花いっぱいコンクールに応募された年間の件数             |
| ⑫1人1日当たりのごみ排出量[単年]                           | —                      | 942g                   | 970g                   | 961g                   | 850g                   | 市民1人当たりのごみの排出量                    |
| ⑬リサイクル率<br>[単年]                              | 14.8%                  | 16.0%                  | 15.8%                  | 14.9%                  | 27.0%                  | 一般家庭等から収集しているごみに占める資源物の割合         |
| ⑭住宅用太陽光発電システムの導入量[累計]                        | —                      | 1,581kw                | 1,986kW                | 2,252kW                | 2,133kW                | 市内における住宅用太陽光発電システム導入量             |

### 【成果指標からみた実績】

- ①「市道の改良率」、②「市道の舗装率」、③「街路整備率」は、前年度とほぼ同率となった。【目標値達成（街路整備率）】
- ④「一人当たりの都市公園面積」は、26年5月の都市計画区域の拡大により、人口増となったため、減少した。
- ⑤「水道普及率」、⑥「下水道等普及率」、⑦「水洗化率」は、増加傾向を維持した。【目標値達成（水道普及率）】
- ⑧「公共交通カバー率」は、前年度と同率である。【目標値達成】
- ⑨「公共交通利用者数」は、デマンドバスの利用者の増（25人）、委託バス3路線（雄国川前線、平沢線、真木線）の廃止に伴う減（△55人）、路線バス（塩川線、熊倉線、会津坂下線）利用者の減（△1人）により、減少した。
- ⑩「水質の浄化度」は、意見書作成時点で未公表である。（福島県の調査となる。）
- ⑪「花いっぱいコンクール参加件数」は、学校の部で3件増加した。
- ⑫「1人1日当たりのごみ排出量」は、減少となった。
- ⑬「リサイクル率」は、減少傾向が続いている。
- ⑭「住宅用太陽光発電システムの導入量」は、再生可能エネルギー固定価格買取制度や県・市による設備設置への補助金制度等を活用し、市民がシステム導入に対して積極的になったため、順調に増加している。【目標値達成】

### 審議会委員の意見（評価、提案、要望等）

- ・住宅用太陽光発電システムの導入がより一層進むよう、メリット等のPRに努めてください。

## 2 市民満足度・重要度調査結果

| 項 目                                      | 満足度  |      |      | 重要度  |      |      |
|------------------------------------------|------|------|------|------|------|------|
|                                          | 19年度 | 26年度 | 27年度 | 19年度 | 26年度 | 27年度 |
| (1)道路の整備について（広さや舗装）<br>（1の①～③）           | 46.3 | 45.7 | 43.7 | 82.0 | 82.4 | 85.1 |
| (2)ゴミやし尿、生活排水などの衛生処理の<br>整備について（1の⑤～⑦・⑫） | 51.9 | 57.4 | 54.1 | 88.6 | 87.7 | 88.3 |
| (3)公園や広場の整備について<br>（1の④）                 | 46.6 | 48.0 | 46.8 | 73.2 | 74.0 | 75.7 |
| (4)公共交通機関の利用環境の整備について<br>（1の⑧～⑨）         | 43.5 | 34.6 | 36.4 | 77.9 | 77.1 | 80.3 |
| (5)市内を流れる水路の清流化や環境の保全<br>について（1の⑩）       | 49.8 | 55.2 | 53.4 | 82.0 | 81.0 | 79.7 |
| (6)資源ゴミなどリサイクル状況について<br>（1の⑬）            | 57.0 | 65.9 | 64.6 | 87.2 | 87.6 | 87.1 |
| 平 均                                      | 49.2 | 51.1 | 49.8 | 81.8 | 81.6 | 82.7 |

### 【市民満足度・重要度調査結果】

#### （1）道路の整備について

前年度との比較では、満足度は2.0ポイント減少し、重要度は2.7ポイント増加した。

満足度の順位は23位となり、重要度の順位は12位となった。

不満の理由として、

「道路の舗装状態が悪くなっている。」「道路がデコボコなところがあるので点検修理をして見回りをしてほしい。」「夏の喜多方プラザ周辺の道路、歩道の雑草の多さにビックリ。」「莫大なコストをかけて、これ以上の道路の整備は必要なのか。」

といった意見のほか、

「道路については、旧市内は消雪道路等で対応しているが、郡部は、除雪の時間も遅いし、休みの日は来ない等の不公平感がある。」

といった除雪に関する意見もあった。

## **(2) ゴミやし尿、生活排水などの衛生処理の整備について**

前年度との比較では、満足度は3.3ポイント減少し、重要度は0.6ポイント増加した。

満足度の順位は8位となり、重要度の順位は6位となった。

不満の理由として、

「喜多方市街地は、下水道整備が大幅に遅れています。早く対策を。」

といった意見があった。

## **(3) 公園や広場の整備について**

前年度との比較では、満足度は1.2ポイント減少し、重要度は1.7ポイント増加した。

満足度、重要度の順位はともに21位となった。

不満の理由として、

「子供と安心して遊べる公園が一つもない。雑草は生えほうだい。遊具が壊れている等。」「公園、広場について夜間、もう少し灯が欲しいです。」「公園の整備（故障中の遊具の放置、トイレの清掃）がもう少し充実していたらと思います。」

といった意見があった。

## **(4) 公共交通機関の利用環境の整備について**

前年度との比較では、満足度は1.8ポイント増加し、重要度は3.2ポイント増加した。

満足度の順位は25位となり、重要度の順位は17位となった。

満足の理由として、

「高速バス、喜多方～郡山線ができてよかった。」

といった意見があった。

不満の理由として、

「市内バスの運行、料金、予約、バス停など老人には利用しにくい。」「バスの運行が何時間に1本では、目的地まで歩くか、タクシーで行くことになってとても不便な生活をしています。」

「デマンド交通を当日の予約でも利用できるようになるとありがたい。」

といった意見があった。

## **(5) 市内を流れる水路の清流化や環境の保全について**

前年度との比較では、満足度は1.8ポイント減少し、重要度は1.3ポイント減少した。

満足度の順位は11位となり、重要度の順位は18位となった。

満足の原因として、

「川・水路等の環境保全の取り組みは、よく機能していると思います。」

との意見がある一方、

「河川の清掃が遅れている。」 「町内の川が流れず臭いのでもっと水を流してほしい。」

といった意見も見られた。

#### (6) 資源ゴミなどリサイクル状況について

前年度との比較では、満足度は1.3ポイント減少し、重要度は0.5ポイント減少した。

満足度の順位は1位となり、重要度の順位は9位となった。

満足の原因として、

「分別の細かさはかなりレベルの高い状況と思う。」 「ゴミの分別等、皆さんの努力が目に見える程進んでいて嬉しく思っています。」

といった意見があった。

不満の原因として、

「積極的にゴミを分別して出しているが、それがどのようにリサイクル・活用されているか実感できるものが無い。」

といった意見があった。

#### 審議会委員の意見（評価、提案、要望等）

- ・ 道路については、管理に対する満足度が低いことから、より一層適正な維持管理に努めてください。
- ・ デマンドバスについて、市民のニーズをより把握し、市民に利用しやすい環境の整備に努めてください。
- ・ ゴミの分別の成果（リサイクル状況）や太陽光発電のメリットを広く市民にPRしてください。